

# 浅草ハム株式会社

関東工場 / 茨城県北茨城市

浅草の地に誕生した「浅草ハム」は、1932年に創業した老舗の企業です。「どなたでも、安心して食べられる。」食の安全にこだわり、幼稚園・保育園や学校などの給食用商材としても多数の採用実績を誇ります。小さなお子様のいる家庭においても安心して楽しめる自慢の商品を提供されております。

そして、その長い歴史によって培われてきた技、その品質を継承しながら、「伝統を守りつつも、常に新しい価値を生み出せるように。」をコンセプトに、日々、変化と成長を目指されておられます。

本件は、災害時の停電下でも製品の保存や管理を継続できるよう、BOS仕様CGSを導入することで物資提供を可能とし、さらに帰宅困難者受入施設としても協定を締結した北茨城市にとって初めてのケースとなった事例となります。



外観

## 補助事業の概要

導入設備：停電対応型CGS 390kW×1台

補助金額：47,405千円(補助率1/2)

災害時の設備用途：【給電】 構内照明、共用部(コンセント利用・空調)、受水槽ポンプ(受水タンクから送出し飲料水等で使用)、製造設備(ハム・ソーセージを製造し、避難者へ提供)

【温水】 ボイラ給水加熱、製品製造用温水

【蒸気】 製品製造プロセスへの供給(ハム・ソーセージを製造し、避難者へ提供)

対象施設	避難所面積	供給方式
帰宅困難者受入施設等	265㎡	中圧

## 事業者様の声

## 補助金を用いた設備導入の経緯と効果

浅草ハム株式会社 関東工場 管理部部長 柴野泰 様

当工場は、東日本大震災で停電を経験いたしました。

当時は、冷凍・冷蔵設備が稼働できず、大きな損害を被りました。そのような経験もあり、非常時の電源確保について検討をしていたところ、ガス会社より、本事業の提案を受けました。2020年度に重油焚きから都市ガスボイラーの燃料転換を行っており、そこから都市ガスの利用を始めております。ボイラーの燃料転換に続き、CGSの導入によって環境負荷低減が図れるだけでなく、勘案事項であったBCP対策もおこなえ、更には災害時、近隣住民の皆様の助けにもなることができるというものでした。

本事業の実施に向け、当社より北茨城市に対し、近隣住民の皆様に当工場で製造・貯蔵している製品と一時避難所としての環境を提供する提案をさせていただきました。物資提供の協定を締結している事例は多々あったようですが、物資提供と被災者の受入れの両方で協定を締結している事例が無かったようで、大変喜んでいただくことができました。

## 災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

### 災害時(停電時)のイメージ



停電時に稼働するCGSの導入により、製造ライン及び冷蔵設備等の機能維持が可能になっています。食料(工場製造のハム等)の物資提供協定も締結しており、工場機能の維持が可能になっていることで、1日1000人分の食料を提供できます。

避難スペースとしては食堂や会議室を提供し、発電機からの電力供給により空調・照明・コンセントの使用ができます。また、工場敷地内に自動車100台の受入れも可能となっており、自動車内の避難者も、トイレ等を使用することができます。

## 協定概要

北茨城市とは「災害時における一時避難所等の提供に関する協定書」を締結(令和4年1月)、地震、風水害、その他の原因による大規模な災害が発生した場合の、住民の安全を確保を目的とし、一時的な避難場所として開放する施設について、およびトイレ・水道水・空調・照明・電源等の提供や、救援物資の提供について定めております。